

# 令和6年度 中央小学校「学ぶ力」育成プログラム

## 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：21004

「学ぶ力」	
これまでの 成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇一人一台端末の活用によって学ぶきっかけを自ら生み出したり、主体的に学び続けたりすることができた。</li> <li>◇体育、学活、総合的な学習の時間、スタートカリキュラムの整備を行い、各学年の単元計画に位置付け計画的な学習を行えるようにした。</li> <li>◇教科の学習の導入等でデジタルシティズンシップ教育を取り入れ、ICT 活用の土台づくりを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇振り返りを学びの蓄積とし、個々が学びに向かうきっかけとすることについては、今後、実践を通して検証することが必要。</li> <li>◇知識や技能の活用場面について考えることで、つながりのある学びの場を構成する。</li> <li>◇【個別探究】において、一定程度の探究の時間を子どもに委ねるためには、「明らかにしたい」という情意と、明確な見通しが必要。</li> </ul>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇自らの目標に向かって取り組むことができるようになってきている一方で、自分のよさや成長を肯定的に捉えることができない児童がいる。また、挑戦する意欲や粘り強く努力することにも課題がある。キャリアパスポートの取組などを生かし、自らのよさや成長を振り返る機会の充実を図りたい。また、結果だけにとらわれることなく、挑戦する姿勢や意欲を伸ばしていくことができるように個々への関わりを大切にしていけることが必要である。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

### 学びをつなげる力

	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇目指す児童像「自己の成長を実感し、主体的に学び続ける子」</li> <li>◇目指す授業像「自己や他者との対話を通して、学びがつながる授業」</li> <li>視点1「個の学びと教材をつなぐ構成」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども主体になる教材化</li> <li>・自己の成長を実感するふりかえり</li> </ul> </li> <li>視点2「個々の学びをつなぐ教師の関わり」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども主体になる交流の場の設定</li> <li>・学びを深める焦点化</li> </ul> </li> <li><b>【重点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びのコントローラーをもっているのは子ども自身</li> <li>・学びの質を高める ICT の効果的な活用</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇行事や児童活動を「自分たちで創る」               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「クラブ設置呼びかけウィーク」(4月末)・「プレ委員会」</li> <li>・「委員会をつくろうプロジェクト」(2月末)</li> <li>・各行事で児童がイベントを企画・運営する</li> <li>・憧れと思いやりを育む異学年交流(ふれあい活動)</li> </ul> </li> <li>◇自分たちの取組のリフレクション               <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校朝会后にキャリアパスポートを活用し、振り返りを設定</li> <li>・2期4節の月目標を自分事としてとらえる</li> </ul> </li> </ul>

〈本プログラムの実行に向けて〉

